

サーブレットのサンプルを作ります。

以下の流れで行います

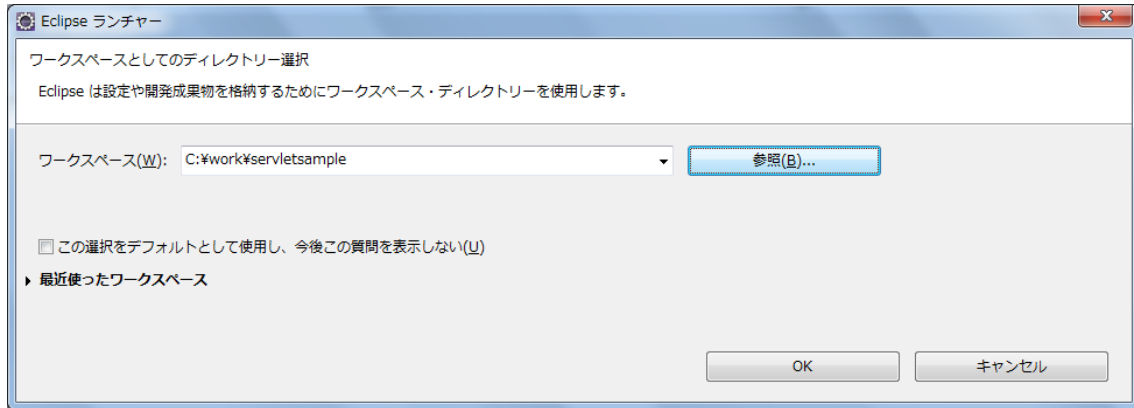
1. サーブレットサンプル用のワークスペースを作成する
2. プロジェクトを作成する
3. サーブレットを記述する
4. 実行する

次ページより詳しい手順を記載します！

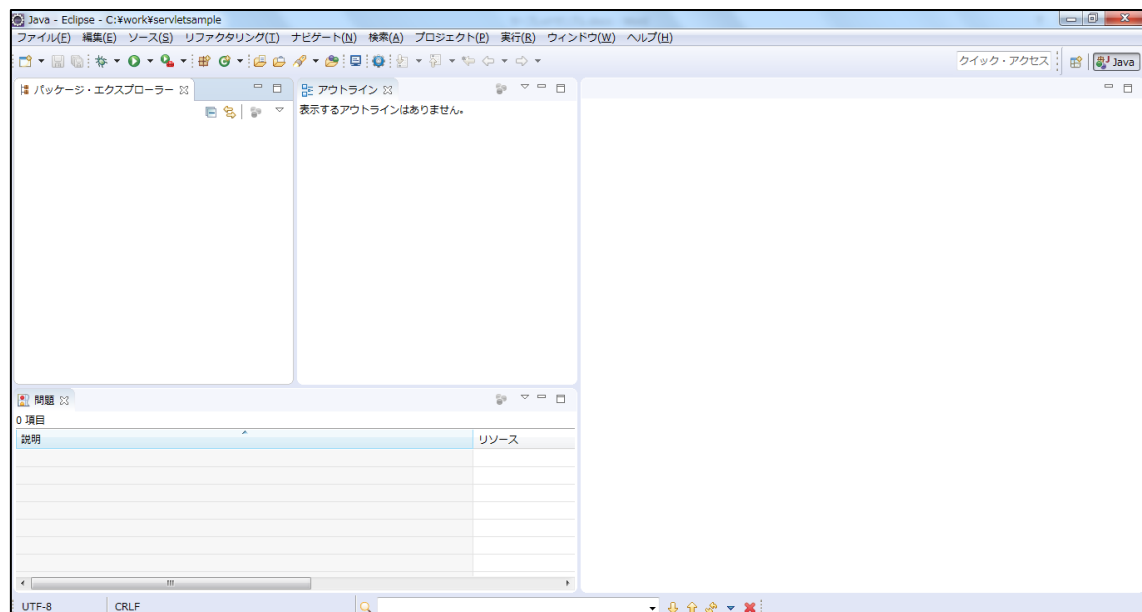
1. サブレットサンプル用のワークスペースを作成する

エクリプスを起動しましょう。

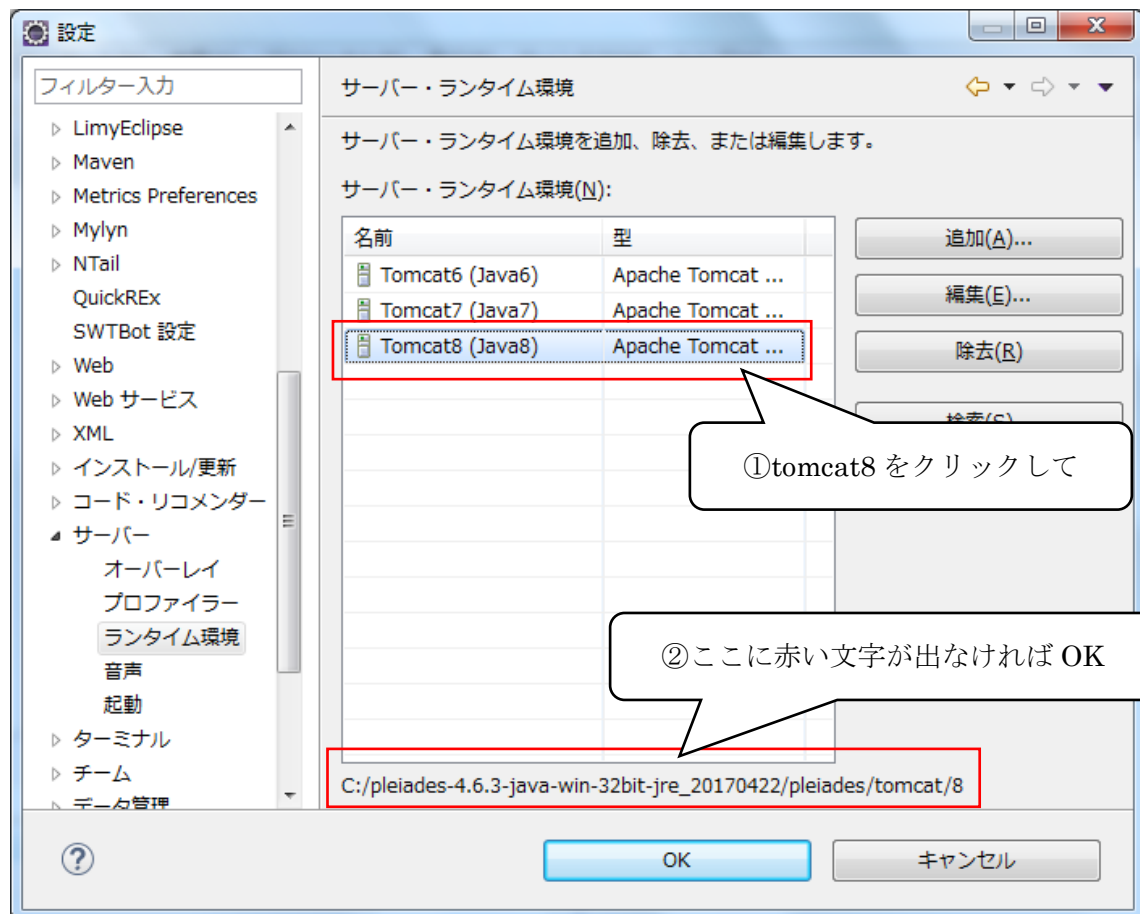
↓の画面で「c:\work\servletsample」と記載します。



↓のように何も無いワークスペースが起動すれば OK です。



念のために、「ウインドウ」－「設定」で表示されるウィザードで「サーバー」－「ランタイム環境」と進み、Tomcat の設定が正しくされていることを確認しましょう。

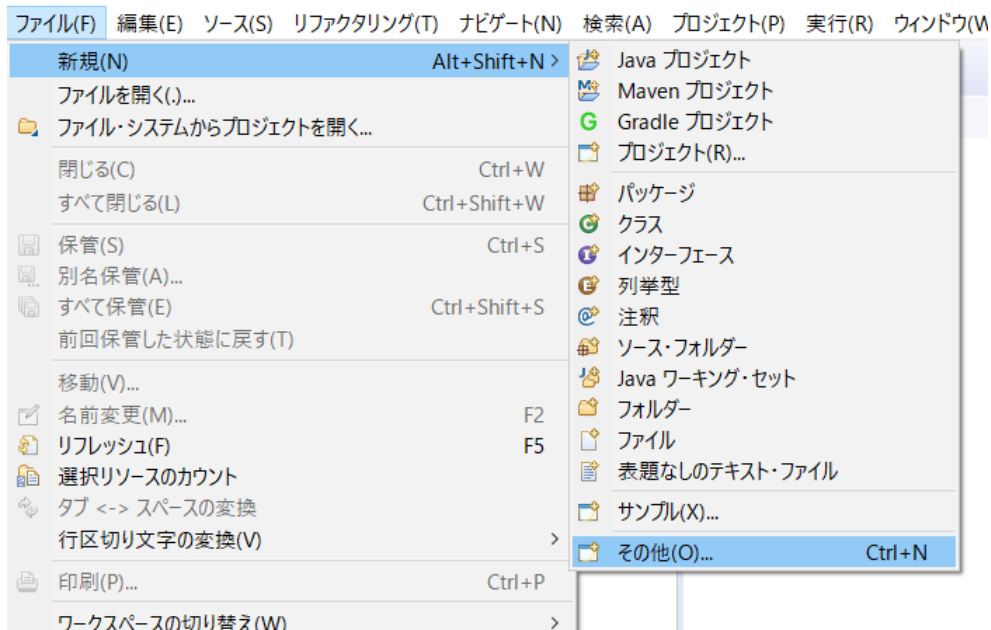


もし、設定がされていない人は以前あった、「2_Eclipse の設定資料.pdf」を見て設定しましょう！

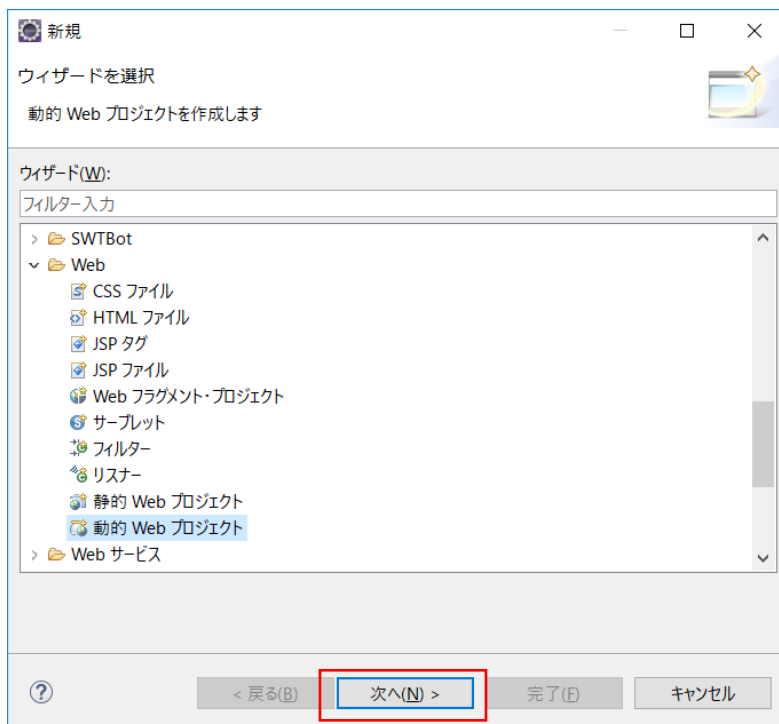
2. プロジェクトを作成する

※以前あった「3_EclipseWeb プロジェクト作成.pdf」と同じ手順です。

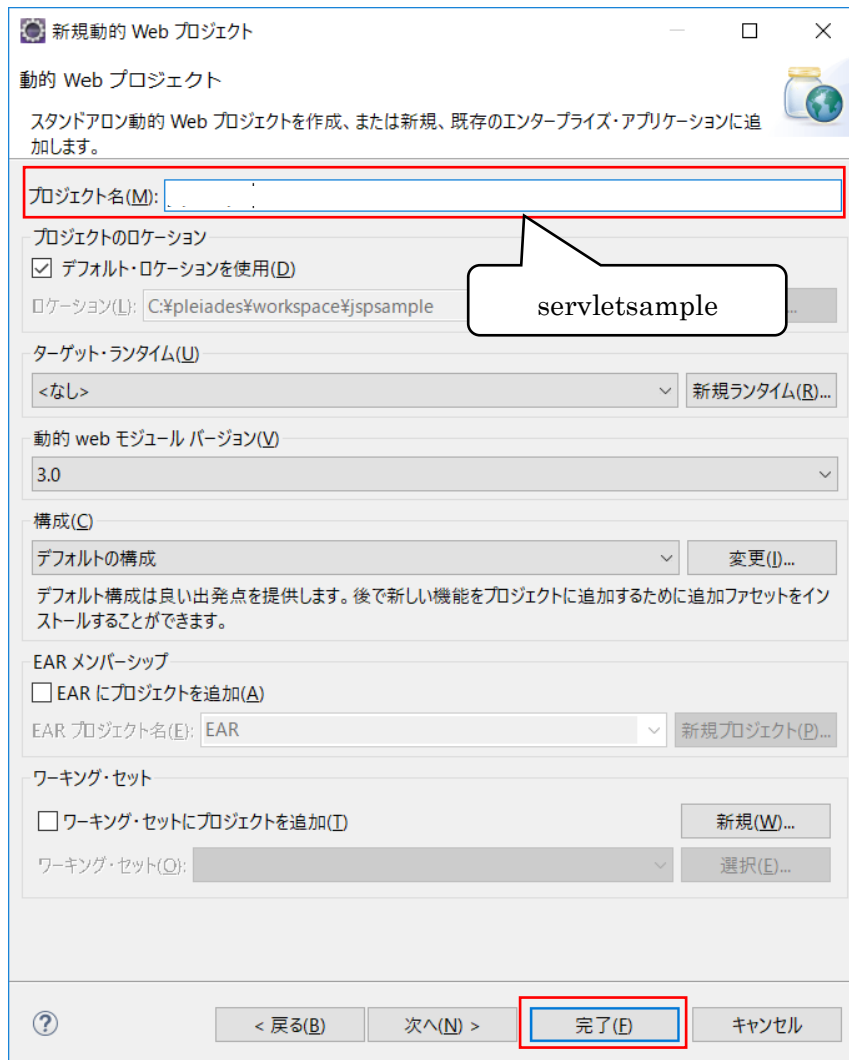
「ファイル」－「その他」を選択する



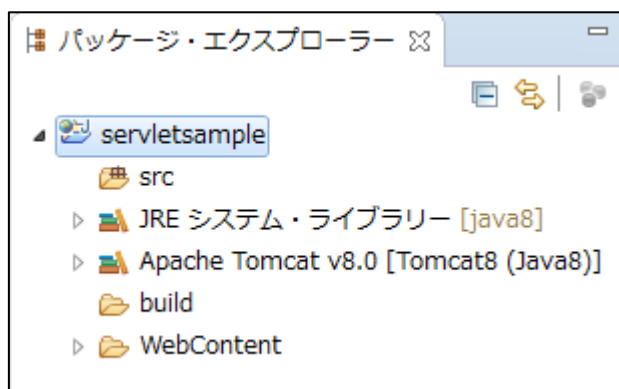
「動的プロジェクト」を選び、次へをクリックします



プロジェクト名を入力します。ワークスペース名と同じ「servletsample」にしましょう
入力したら完了をクリックします



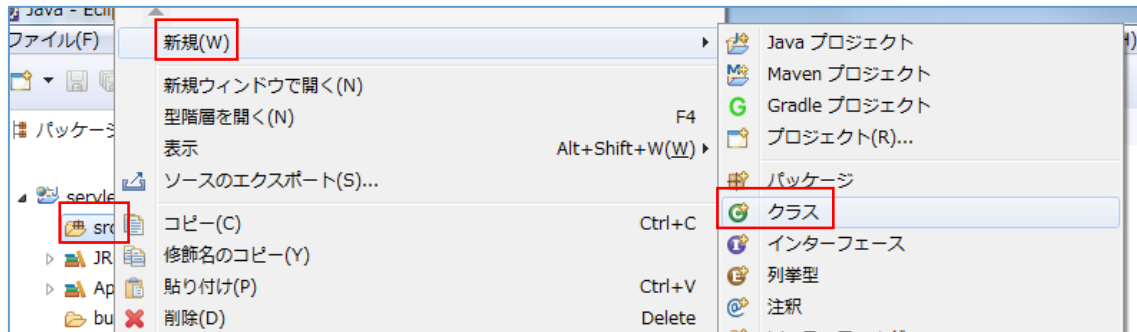
プロジェクトが作成されました。



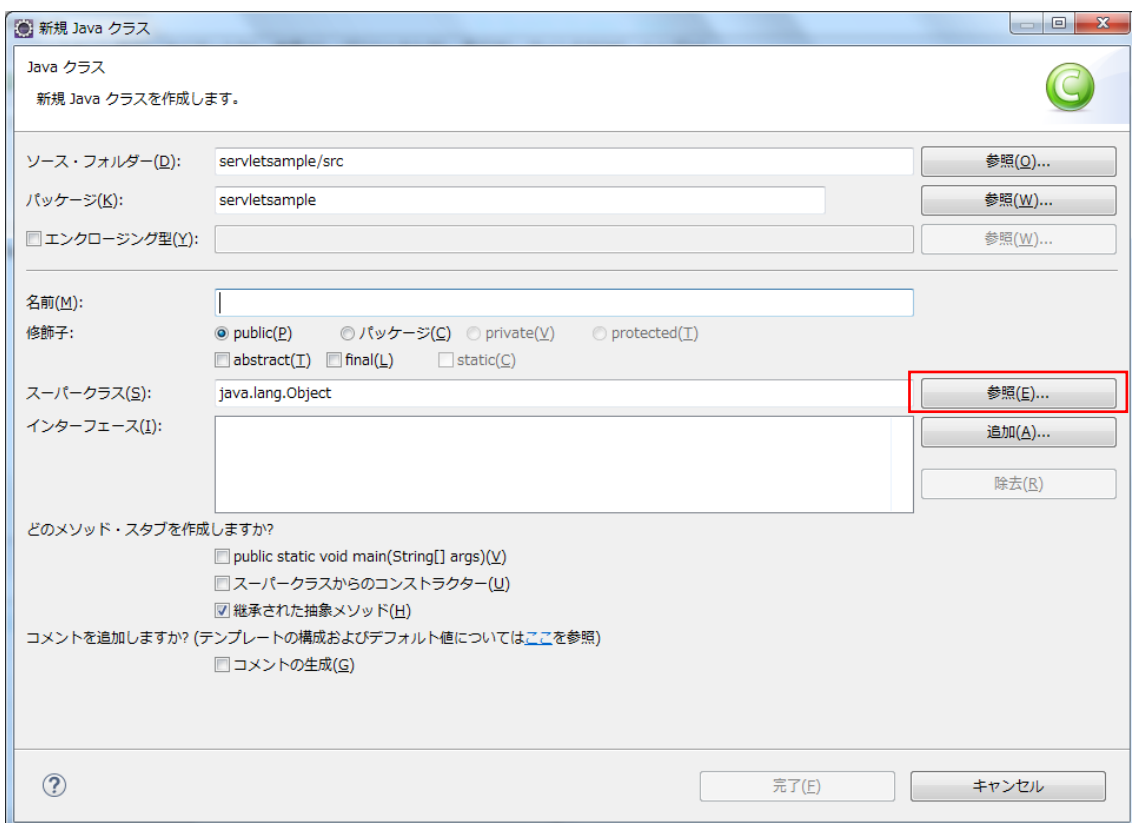
3. サブレットを記述する

サブレットを記述するためには、まずサブレットクラスを追加する必要があります。

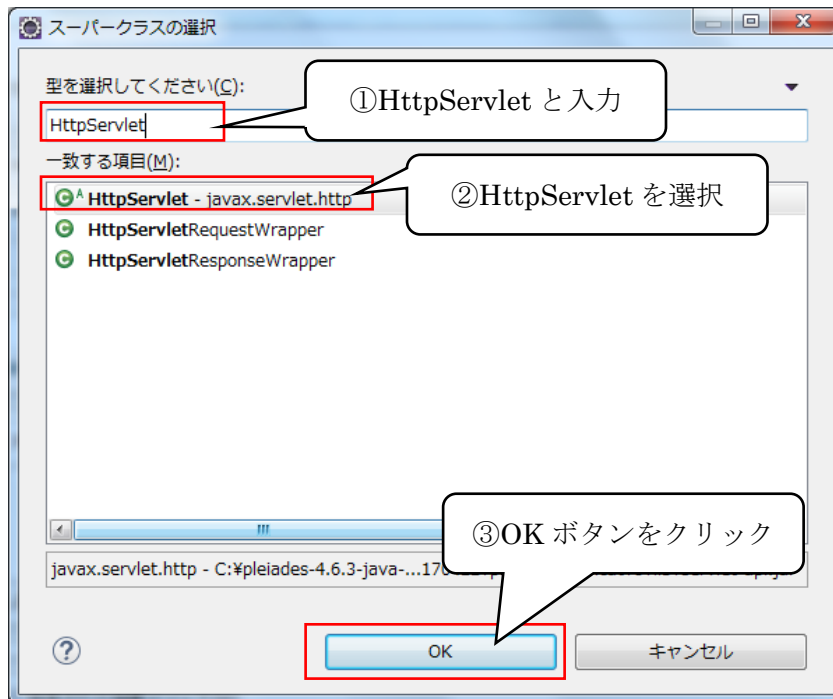
「src フォルダ」を選択して、右クリック→「新規」→「クラス」



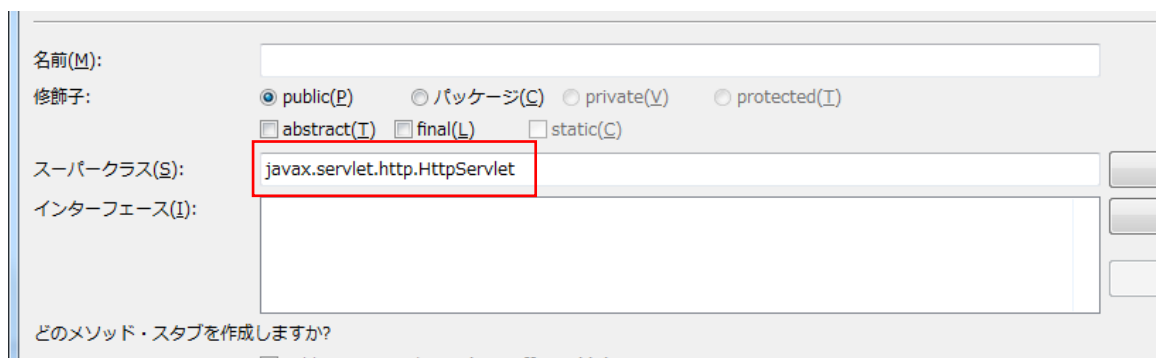
スーパークラスを設定する為に、参照をクリックします。



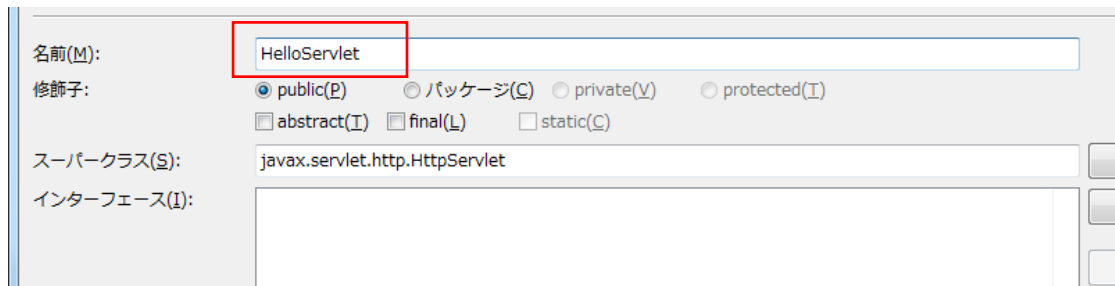
表示されたダイアログで「HttpServlet」と入力し、HttpServlet を選択して OK ボタンをクリック



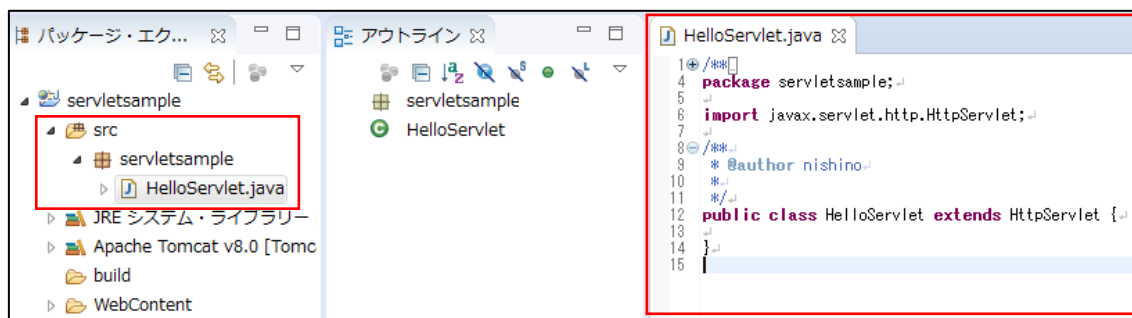
スーパークラスのところに HttpServlet が入れば OK



名前のところに「HelloServlet」と入力し、完了をクリック

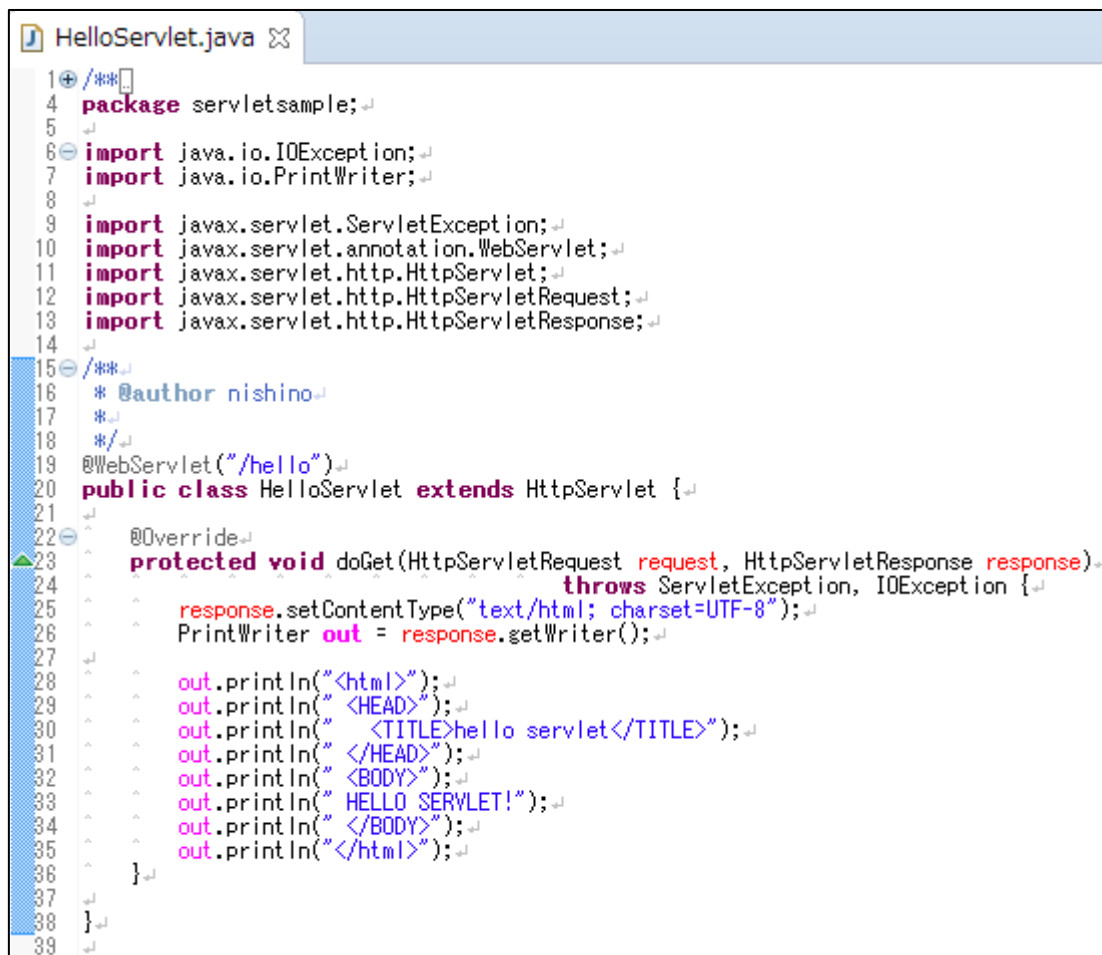


HelloServlet が作成されて、スケルトンが作成されます。



以下のコードを実装します。

※import は保存した時に自動で追加されます！



コレでサーブレットは完成です。

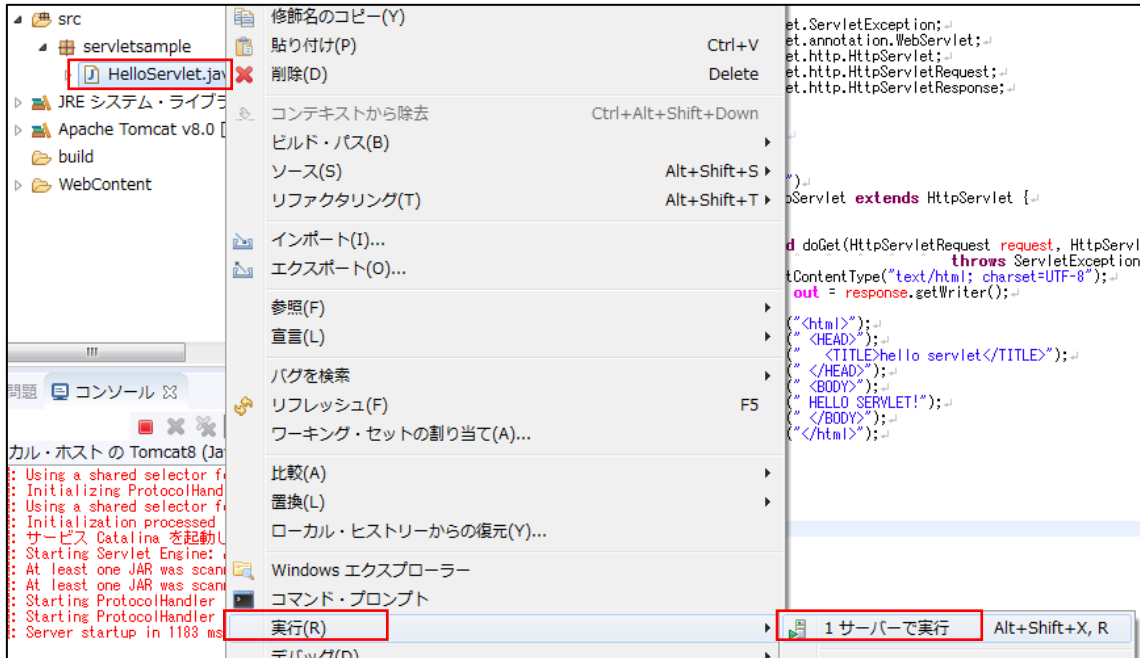
色々「？」な部分があると思いますが、後で解説します。

とりあえず実行してみましょう。

4. 実行する

実行するには

HelloServlet.java を選択して、右クリック - 「実行」 - 「1 サーバーで実行」を選択する



↓のように表示されれば OK です。

